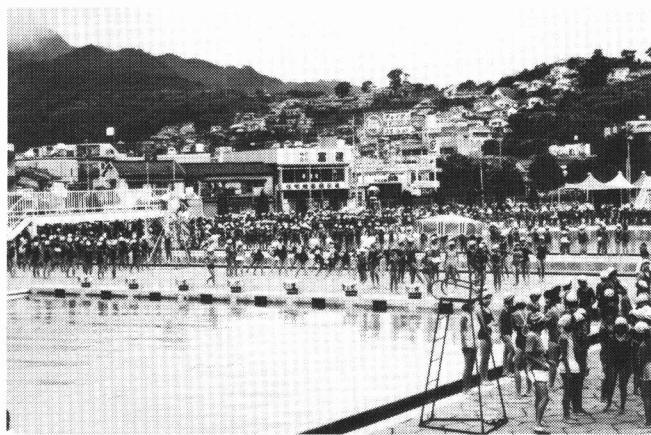


と同じです。そのころは、まだクロールなどの泳き方は、伝えられていませんでした。

長崎の海は、きれいでした。大波止から団平船べいせんという舟にのつて、協会のつくつた水泳場のあるねずみ島に渡る子どもたちの声が、海面をゆるがせてひびいてきます。砂浜にいすをおいて、子どもたちを監督かんとくする四郎の心には、あの故郷の常浪川ところなみがわで泳いだワンパク少年のころの、思い出がうかんでいたことでしょう。

「遠い昔のことになつたな。」

四郎は、子どもが好きでした。この尾道おのみちへ来てからも、よく子どもたちを集め



現在の長崎游泳協会の水泳教室(長崎市民プールで)